

達成状況評価書(平成25年度)

部局名:人間科学研究科・人間科学部

項目	コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、英語コースの科目を共通教育科目として提供し、263名の学生が受講したほか、秋期の大学院入試の時期を変更実施することにより志願者が増加するなど、大学の年度計画の達成に貢献している。 また、イングリッシュラウンジの開催(6回)や本館1階に新たにインターナショナル・カフェを設置し、学生らが多言語でコミュニケーションを行えるスペースを提供するなど、教育の国際化に積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、所属教員が第10回(平成25年度)日本学術振興会賞を得たことは、大学の実績として評価できる。その他、9件の学会賞等の受賞するなど、研究成果は上がっている。 また、研究推進室が中心となって、研究分野を跨がった国際共同研究の協力体制を構築し、国際共同研究促進プログラムに応募した結果、2件が採択されるなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画: 11~17)	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、教員免許状更新講習「教師に必要な新たな気づきと元気の共有」(必修領域)を実施し、小中学校教員のリカレント教育のニーズに応えたほか、心理教育相談室で1591件の相談を実施し、地域のメンタルヘルス向上に貢献するなど積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 18~30)	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、大学院パンフレットの印刷を廃止し、ホームページの改訂をおこなうなど広報の方針を明確にし、研究倫理審査体制をすべての学系で整備し、倫理チェックを機能させ、留学生に対しては、メンタルヘルスカを継続的に実施しているなど積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況	【計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成25年度は、教育の国際化をすすめ、研究支援体制を強化するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。